

「インターネット都政モニターアンケート」の実施結果について

東京都では「自殺の問題」について9月21日から10月5日までインターネット都政モニターアンケートを実施し、430名の方からご意見をいただきました。

〔質問と寄せられた主なご意見〕

1 東京の自殺の現状についてどう考えますか。

- ・ 60代前半の男性が最も自殺死亡率が高いと知り驚きました。
- ・ 交通事故よりも9~10倍の自殺者がいるとは知りませんでした。
- ・ 10代、20代、30代の死因の第一位が自殺という現状は非常にショックである。
- ・ 東京の場合、核家族や希薄な人間関係になっていて、誰にも相談できずに自殺へ至っているのではと思います。

2 「普及啓発・教育分科会」において、自殺や精神疾患についての正しい知識の普及啓発などを検討しています。都民への効果的な普及啓発や自殺予防教育についてどう考えますか。

- ・ 10代、20代に関しては、やはり学校教育などで命の大切さを示す必要があると思います。
- ・ 悩んだ際に、自殺以外にも方策があることを、また、生きていれば喜びがあることを、もっと教育することが大事だと思います。
- ・ まずは周りの身近な人がもっと関心を持つべきだと思う。
- ・ 学校、職場等で気軽に話を聞いてくれるような場を設けることが必要だと思います。
- ・ 精神疾患についての世間の理解度はまだまだであると思う。
- ・ 都民が「そんなことは自分には関係のないことだ」と思ってしまうようでは、解決に程遠い。

3 「早期発見・早期対応分科会」において、自殺念慮者（自殺を考えている人）や未遂者に対する早期発見・対応の有効策などを検討しています。有効な自殺防止策についてどう考えますか。

- ・ 周囲の人の「気づき」が大きな意味を持つと思います。
- ・ 大掛かりなキャンペーンを行い「相談窓口が存在する」ということを知らしめることが重要だと思います。
- ・ （自殺の）サインを読み取り、専門家の紹介、相談などを行うゲートキーパーの養成が必須。
- ・ どういうサインを出している人が自殺念慮者かということを広報するのも良いと思う。
- ・ 学校や役所で大きくPRをして、窓口を作り、自殺防止をしてほしい。
- ・ 自殺をしたいと思う要因を解決しなければ防止することはできない。
- ・ 心療内科などに通うことに抵抗がなくなるようにする。